

第5回石綿に関する健康管理等専門家会議

1 日 時 平成17年11月2日（水）14：00～16：00

2 場 所 経済産業省別館 827号会議室

（東京都千代田区霞が関1-3-1経済産業省別館 8階）

3 議 事

（1）住民の健康管理の方法について

（2）住民に対する検診の考え方

（3）その他

4 配付資料

資料1 参加者一覧（事務局）

資料2 第4回専門家会議の主な意見について（事務局）

資料3 住民に対する検診の考え方（案）（事務局）

資料4 検診の流れ（案）（事務局）

資料5 自治体及び事業場等における住民検診の結果報告（事務局）

資料6 がん検診について（老健局）

資料7-1 がん登録について（健康局）

7-2 イタリアの中皮腫登録制度について（名取委員）

7-3 疾患のサーベイランスと登録制度（森永委員提供資料）

資料8 事業場周辺における健康相談実施状況（事務局）

資料9 報告書骨子（案）（事務局）

「石綿に関する健康管理等専門家会議」名簿

かがみもり さだのぶ
鏡森 定信
きしもと たくみ
岸本 卓巳
そぶえ ともたか
祖父江 友孝

富山医科薬科大学医学部保健医学教授
(独) 労働者健康福祉機構岡山労災病院副院長
国立がんセンター

がん予防・検診研究センター情報研究部長

つちや りょうすけ
○土屋 了介
なとり ゆうじ
名取 雄司
なりた のぶひろ
成田 亘啓
ほんだ ひろし
本田 浩
もりなが けんじ
森永 謙二

国立がんセンター中央病院副院長

医療法人社団ひらの亀戸ひまわり診療所

奈良厚生会病院名誉院長

九州大学大学院医学研究院臨床放射線科学教授

(独) 産業医学総合研究所作業環境計測研究部部長

(○座長、敬称略、五十音順)

第4回 専門家会議における意見

論 点	委 員 意 見	対 応
住民の健康管理の方法について	<p>○若年には配慮するが、初回はレントゲンとCTを撮影し、胸膜肥厚や線維性変化を見たほうがよい（名取委員、岸本委員、本田委員、成田委員）。</p> <p>○CTの費用はどうするのか（成田委員）。</p> <p>○心配だから、不安だからといって来る患者さんの場合は、過去にCTをとっても何も所見は無かった。問診で問題がないと思われるこのようなケースでは、今ではCTは撮っていない（岸本委員）。</p> <p>○問診でばく露ありと判断する閾値をどこに設定するかが大切（本田委員）。</p> <p>○ばく露の定量化は、ばく露濃度のばらつきが大きいため、数値化が難しい（名取委員）。</p> <p>○最初の1年は、ある程度の範囲で検査して、結果から絞込みをするのがよいのではないかと（名取委員）。</p>	<p>○知る範囲では、企業は医療機関と契約をしていると聞いている（労働衛生課長）。</p>
その他	<p>○石綿関連疾患に関する医師の研修を公的に行っていただきたい（名取委員）。</p>	<p>○（労働衛生課長）検討します。</p> <p style="text-align: right;">別添</p>

アスベスト疾患センター講習会実施状況（9月1日～10月21日）

合計20回 1,135人

	開催日	主催	対象	参加者数
岩見沢労災病院	9/6	北海道労働局、北海道医師会	産業医	100
	9/30	帯広市医師会	医師会員	50
	10/3	北海道労働局	塵肺・アスベスト担当医師	12
関東労災病院	9/30	神奈川県立循環器センター	医師	5
横浜労災病院	10/19	横浜労災病院	産業医	52
燕労災病院	10/6	医師会主催	認定産業	69
新潟労災病院	9/1	新潟労災病院	開業医	2
旭労災病院	9/8	瀬戸旭医師会	医師会員	100
	9/15	旭労災病院	開業医	10
	9/28	旭労災病院	名古屋第二赤十字病院 医師	10
	10/8	旭労災病院	保険医	30
	10/8	旭労災病院	開業医 産業医	30
神戸労災病院	9/12	神戸赤十字病院	神戸赤十字病院医師	45
	9/23	兵庫県	産業医	200
岡山労災病院	9/26	岡山県医師会	医師会員	75
	9/27	福山医療センター	医師	55
	10/5	香川県医師会	医師会員	200
	10/8	西宮わたなべ病院	医師等	30
	10/8	岡山労災病院	西宮わたなべ病院 (医師・看護師・MSW等)	30
筑豊労災病院	10/4	筑豊労災病院	医師会・開業医	30

住民に対する検診の考え方（案）

1 住民に対する検診の意義

一律に誰にでも石綿に関する検診を行うことは適切ではない。検診を行うに当たっては、発見率、延命効果、費用対効果、メリットとデメリットの比較などを検討の上、有効性についての判断が必要である。

2 石綿に関する検診の有効性について

- 1) 石綿の健康影響に関する胸部エックス線検査についてのエビデンスは現時点ではない。
- 2) 石綿による環境汚染のリスクが高いと考えられる地域について、調査研究としての問診や検査を行う。
- 3) 調査研究を行う対象は労働者の家族や、住民に中皮腫等が出ている特定の地域に一定期間以上居住した住民等とし、そのほか取扱い石綿の種類や量など、地域ごとの実情を考慮する。
- 4) 調査研究に当たっては、対照地域も選定し、比較を行う。

3 具体的な調査研究の進め方

- 1) 石綿による環境汚染が疑われる地域を選定する。
地域を選定する根拠としては、以下のものが考えられる。
 - ・ アスベスト事業場が存在している地域
 - ・ 労災認定者が多数出ている事業場の周辺地域
 - ・ 住民等に中皮腫の発症が見られる地域
 - ・ その他、地域の個別事情
- 2) フローチャートにそって調査研究を実施する。
- 3) 専門家グループが胸部エックス線写真等を読影することにより、読影の質を担保する。
- 4) 調査研究の結果について、「検診」としての有効性等をふくめ、科学的な評価を行う。

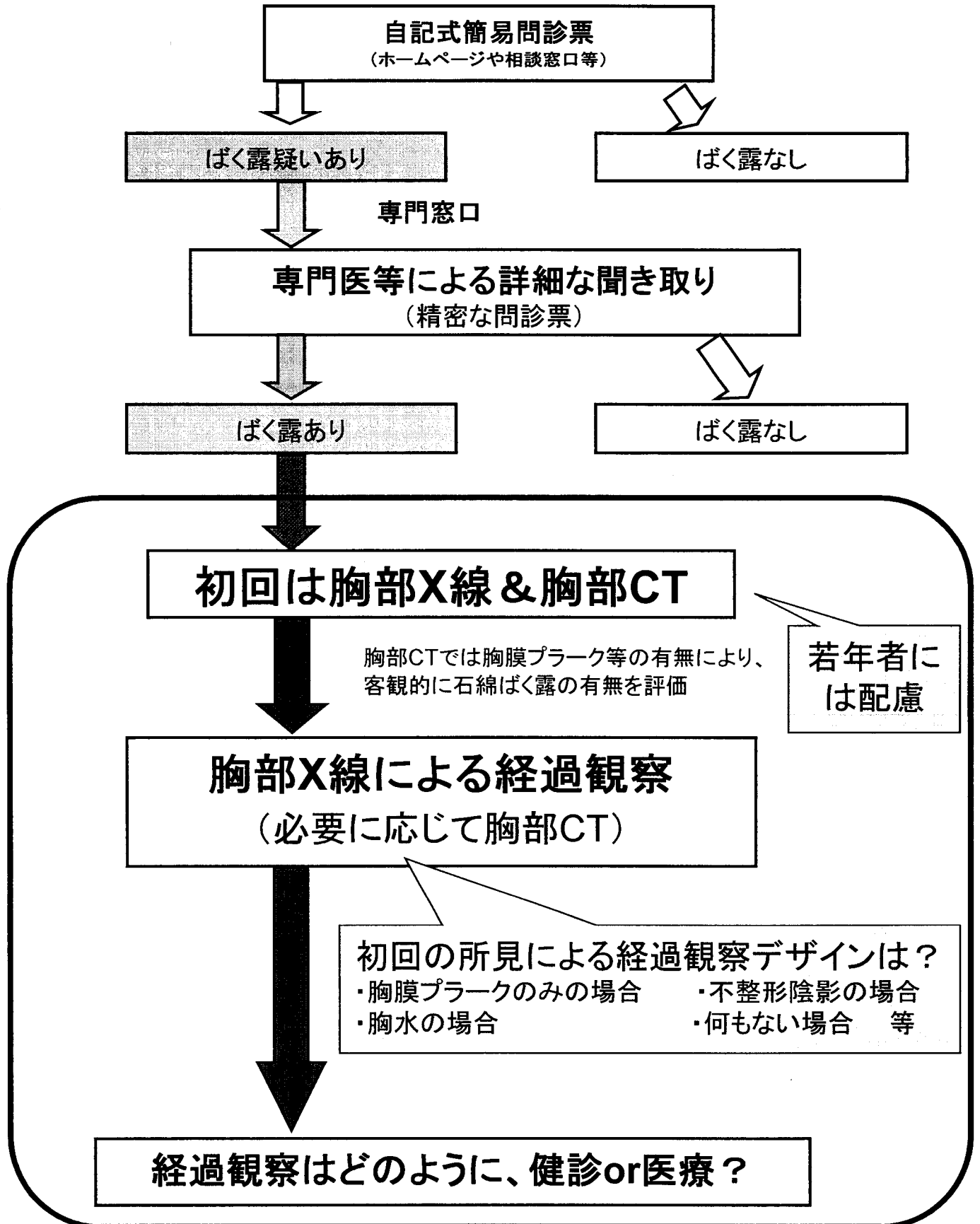
4 他の検診結果の活用

自治体において撮影された肺がん検診等の胸部エックス線写真について、胸膜肥厚等のアスベストの影響を評価する。

5 石綿関連疾患を診断できる医師の育成

医師の診断能力、読影能力等の質を確保するために、研修や講習を実施する。

【これからの健診の流れ(案)】



自治体及び企業による健診結果（10月26日現在）

◎現在、一次健診、二次精検を実施している最中。有所見数、有所見率等の結果については経時的に変化していくものであり、以下のデータは10月26日時点の暫定値です。

1 自治体による健診結果

【鳥栖市】

	9/27 申込者	有所見者 ○	1次健診有 所見率(%)
元従業員	44名	24名	54.5
関連企業	201名	21名	10.4
労働者の家族	53名	5名	9.4
周辺住民	583名	12名	2.1
計	881名	62名	

○ 石綿に関する肺疾患等の疑い
↓
二次精検を実施中

※ 10月26日時点で、新たな情報提供無し。

【尼崎市】

	10/26 申込者	要精検 指示	1次健診 要精検率	1次健診結果（重複在り）				
				硬膜肥厚	胸水	プラーク	その他	著変なし
職業歴	106名	54名	50.9%	29名	7名	5名	23名	9名
周辺住民	209名	48名	23.0%	25名	2名	7名	26名	4名
両方	53名	20名	37.7%	13名	0名	7名	8名	2名
その他	88名	28名	31.8%	14名	1名	7名	14名	1名
計	456名	150名		81名	10名	26名	71名	16名

	要精検者	精査終了者(10/7現在)		
		異常なし	経過観察	要医療
職業歴	54名			1名
周辺住民	48名			
両方	20名			
その他	28名			
計	150名	25名	23名	1名

経過観察の23名：
プラーク等のアスベスト疾患9名、
結核陳旧陰影など14名

要医療の1名：中皮腫

注) ①要精検者は複数の病変があるケースがあるので合計とは合致しません。

②著変なしは、レントゲンフィルムの所見上異常がなくても職業歴や居住歴があり、しかも咳や胸痛などの症状がある場合は、精密検査のため医療機関を紹介しています。

③※その他には、次のような内容が含まれています。

- ア 何となく不安
- イ 自宅に石綿が使われている可能性がある。
- ウ 通勤、通学途上に石綿製造工場があった。
- エ 親族が肺疾患を患った。

2 企業による健診結果

検診実施企業 11 社（子会社も 1 とカウント）

	10/26 申込者	1 次有所見率	2 次精査終了者		2 次 ASB 有所見率①	2 次有所見率①②
			①ASB 起因	②経過観察※		
元従業員	1154 名	65.0%	292 名	2 名	52.9%	53.3%
関連企業	87 名	55.9%	7 名	5 名	12.7%	21.8%
労働者の家族	176 名	35.6%		4 名		4.9%
周辺住民	1411 名	16.4%	3 名	40 名	0.3%	3.8%
計	2828 名		272 名	49 名		

	右所見のみ			疾患名のついた人	診断名（重複あり）						経過観察（詳細不明）
					胸膜プラーク	肺野の不整形陰影	中皮腫	石綿肺		じん肺	
	胸膜プラークあり	胸膜プラークあり	じん肺					胸膜プラークあり			
元従業員	245 名	244 名	13 名	47 名	1 名	名	25 名	16 名	21 名	14 名	
関連企業、出入り業者	18 名	17 名	1 名	2 名	名	名	2 名	2 名	名	名	5 名
家族	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	4 名
周辺住民	3 名	3 名	名	3 名	名	名	3 名	1 名	名	名	40 名
総数	266 名	264 名	14 名	52 名	1 名	名	29 名	19 名	21 名	14 名	49 名

企業の二次精検で結果の判明した者：

10 月 26 日時点で 318 名（元従業員 292 名、関連企業 20 名、周辺住民 6 名）

元従業員：胸膜プラークのみ 244 名、不整形陰影 13 名、石綿肺 25 名、じん肺 21 名

関連企業：胸膜プラークのみ 17 名、石綿肺 2 名

周辺住民：胸膜プラークのみ 3 名、石綿肺 3 名